

デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

証券コード 6862

MINATO

2025年3月期 第1四半期  
決算説明資料

ミナトホールディングス株式会社

2024年8月9日

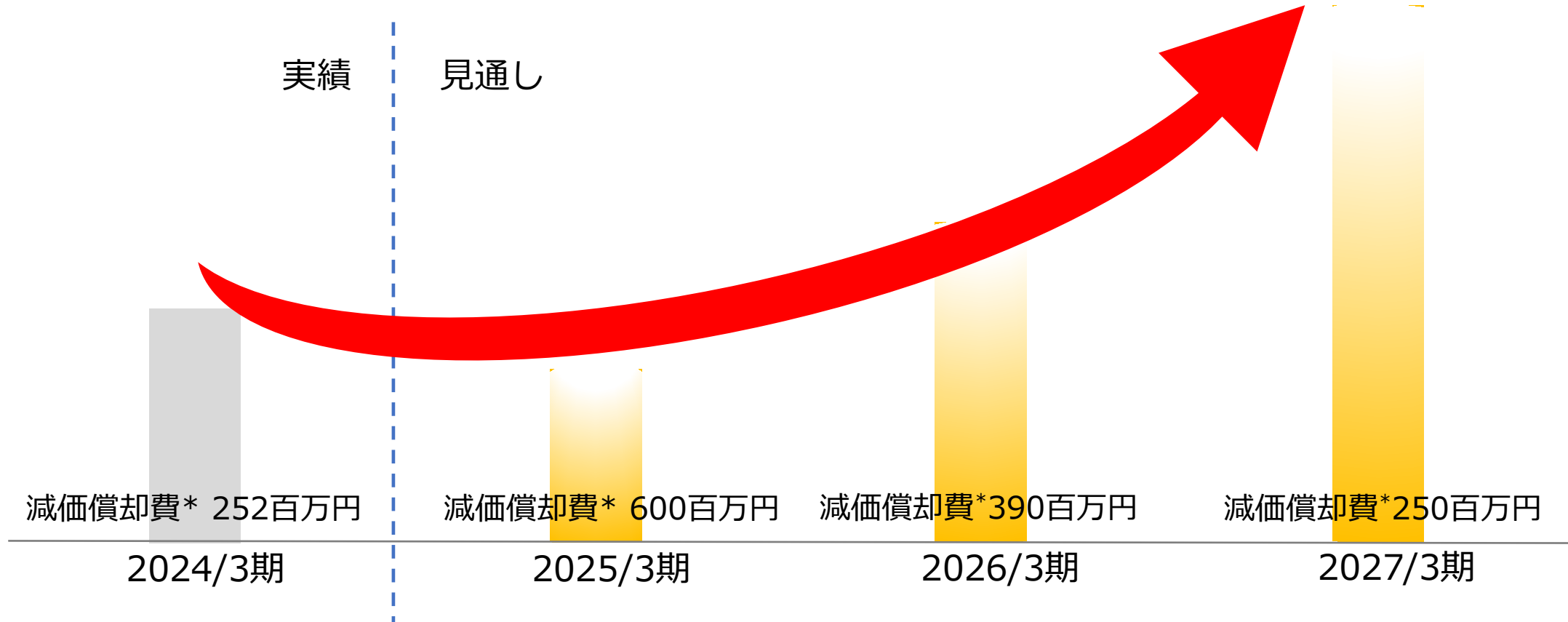
1.	2025年3月期 第1四半期決算ハイライト	3
2.	2025年3月期 第1四半期連結業績	6
3.	セグメント別 第1四半期業績	13
4.	ミナトグループの成長戦略	27
5.	Appendix 会社概要とグループ会社の事業内容	36

# 1. 2025年3月期 第1四半期決算ハイライト

売上高 4,701百万円、営業利益 52百万円。前期に実施した設備投資による減価償却費の増加に加え、ROM書込みサービス事業で一時的に書込み数量が減少。通期連結業績は変更せず減益予想だが、2026年3月期以降は業績回復を見込む。

セグメント	業績コメント
デジタルデバイス	メモリー価格の上昇や新規案件の獲得等により売上高は前期を上回り、利益率の高い自社ブランドのメモリーモジュール製品の販売が利益確保に寄与
デジタルエンジニアリング	ROM書込みサービスにおいて、増設設備に係る減価償却費の増加、および一時的な書込み数量の減少により減収減益
ICTプロダクツ	据置型会議システム全体において需要が低調に推移し、前期後半に取り扱いを開始したデジタル会議システムの立ち上がりが遅れたこと等により、販売実績は前期を下回る。また、デジタル関連機器事業の需要も低調に推移
その他	2023年6月に全株式を譲渡した株式会社クレイトソリューションズを連結範囲から除外したことにより、売上高、利益ともに大幅な減少

減価償却費の増加に加え、顧客である国内大手メーカーの生産動向の影響を受け、2025年3月期は減益を見込むが、2026年3月期以降は書込み数量増加と減価償却費の逡減で、再び成長軌道へ。



\* ROM書込み事業に係る新規取得の建物・設備に係る減価償却費概算見込み

# 2. 2025年3月期 第1四半期連結業績

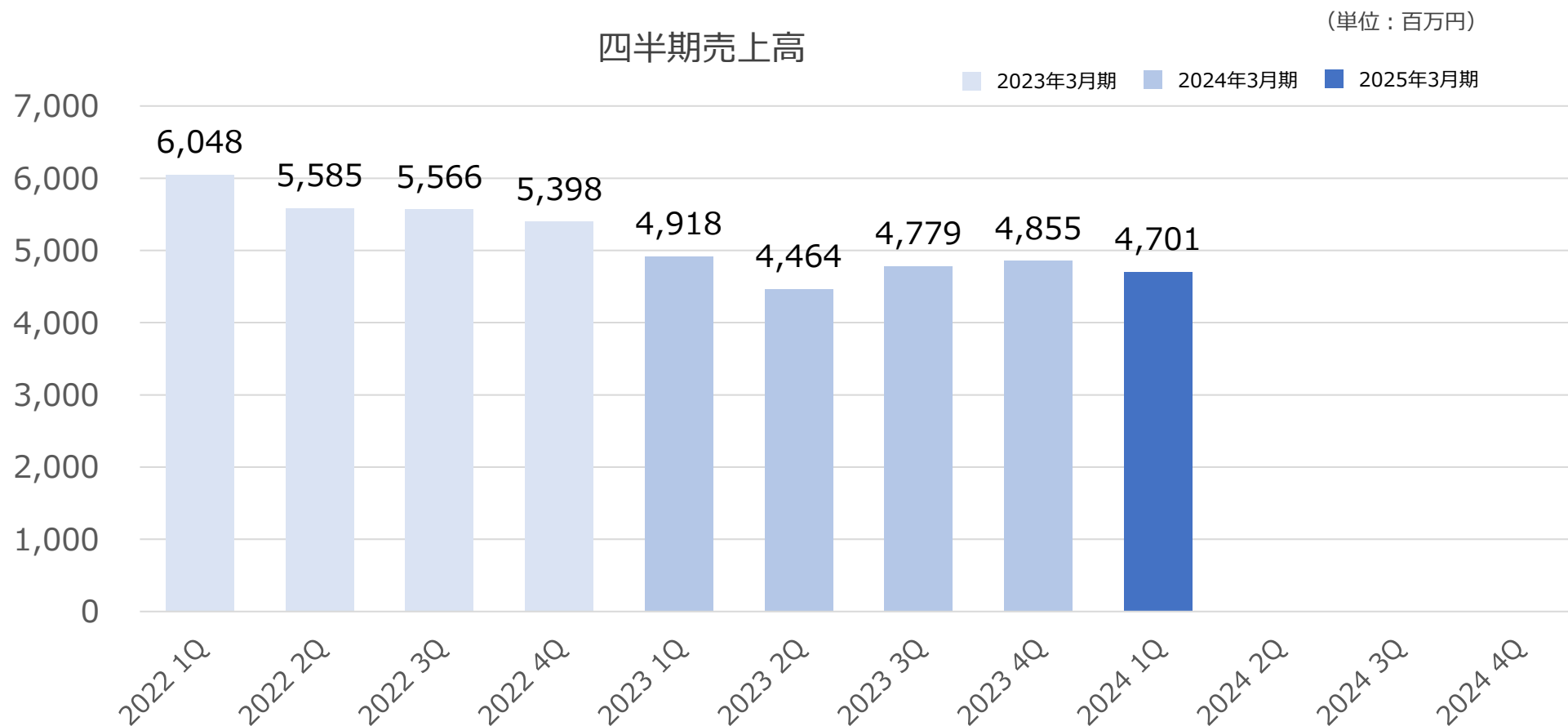
デジタルエンジニアリングの減益に加え、前期に特別利益として計上した子会社株式売却益が無くなったことも減益要因となったが、**デジタルデバイスが業績を牽引し黒字を確保。**

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期 実績	2025年3月期 第1四半期 実績	増減額	前年同期比
売上高	4,918	4,701	-217	-4.4%
営業利益	314	52	-261	-83.2%
経常利益	341	63	-278	-81.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	※ 911	37	-874	-95.9%

※ グループ会社の株式譲渡により、特別利益として関係会社株式売却益1,278百万円を計上

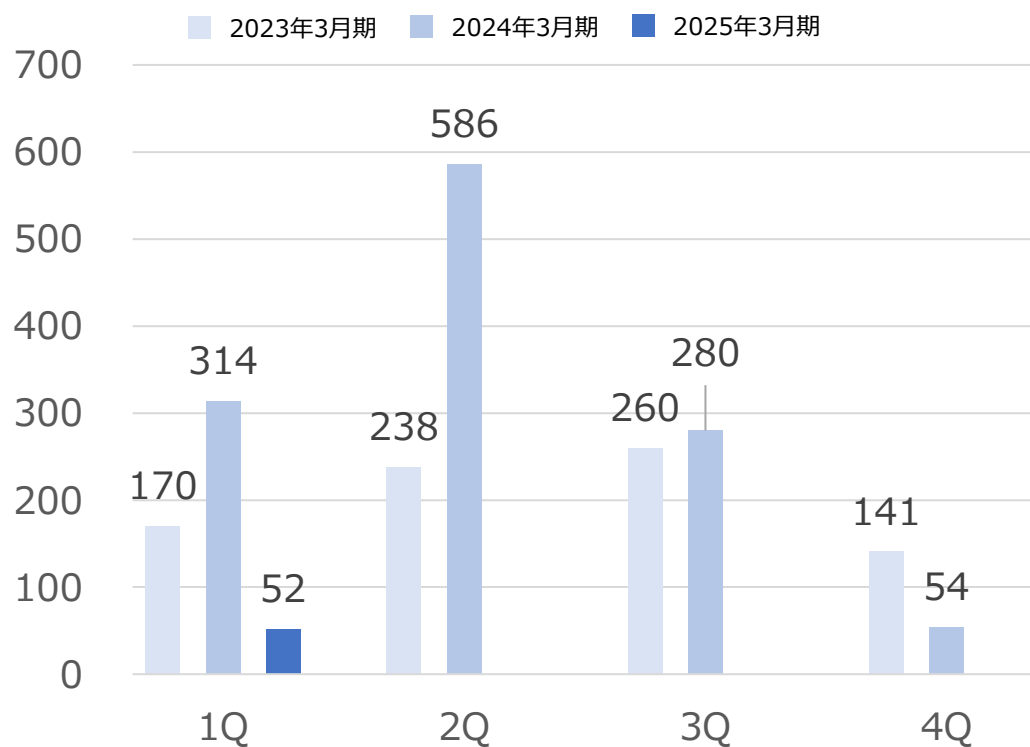
半導体関連市場においてメモリー価格の上昇が見られるものの、特にパソコン・サーバー需要の回復は顕在化せず、部品調達の調整や製品の在庫調整の動きが継続していること等から、**四半期売上高はほぼ横ばい**。



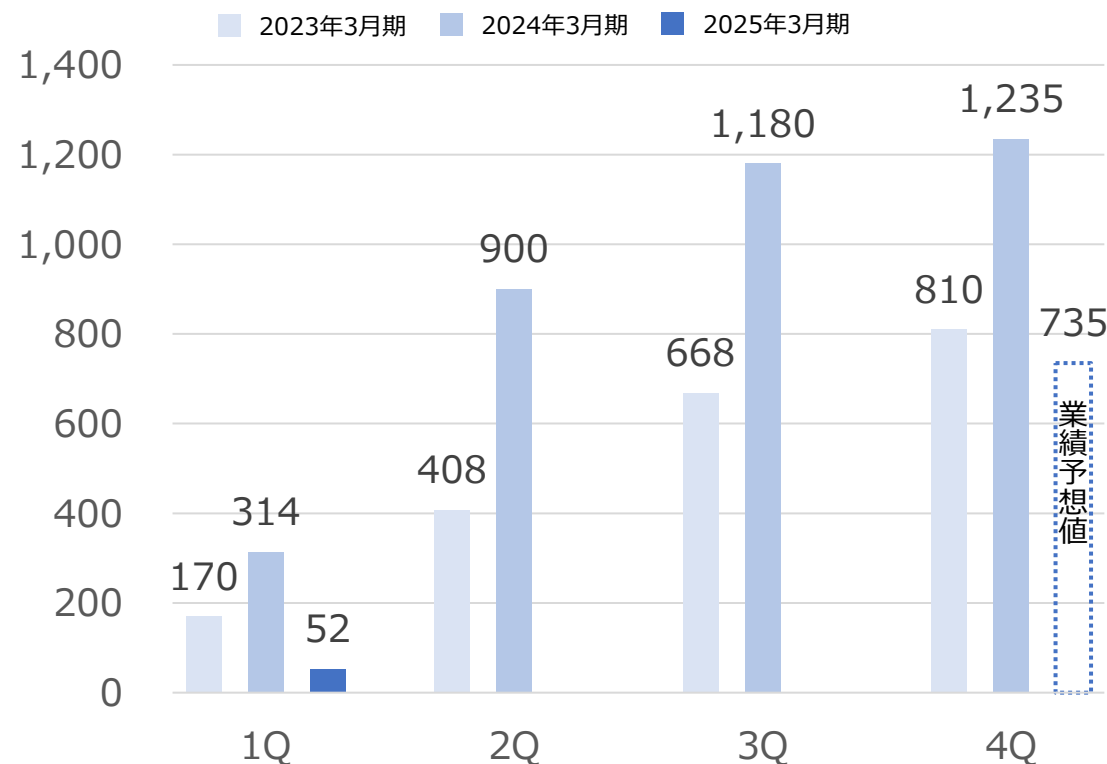


ROM書込み数量減少による減益に加え、前期に実施した設備投資による減価償却費の増加等もあり前期比減益だが、**2025年3月期業績予想の達成に向けて着実に各事業を推進。**

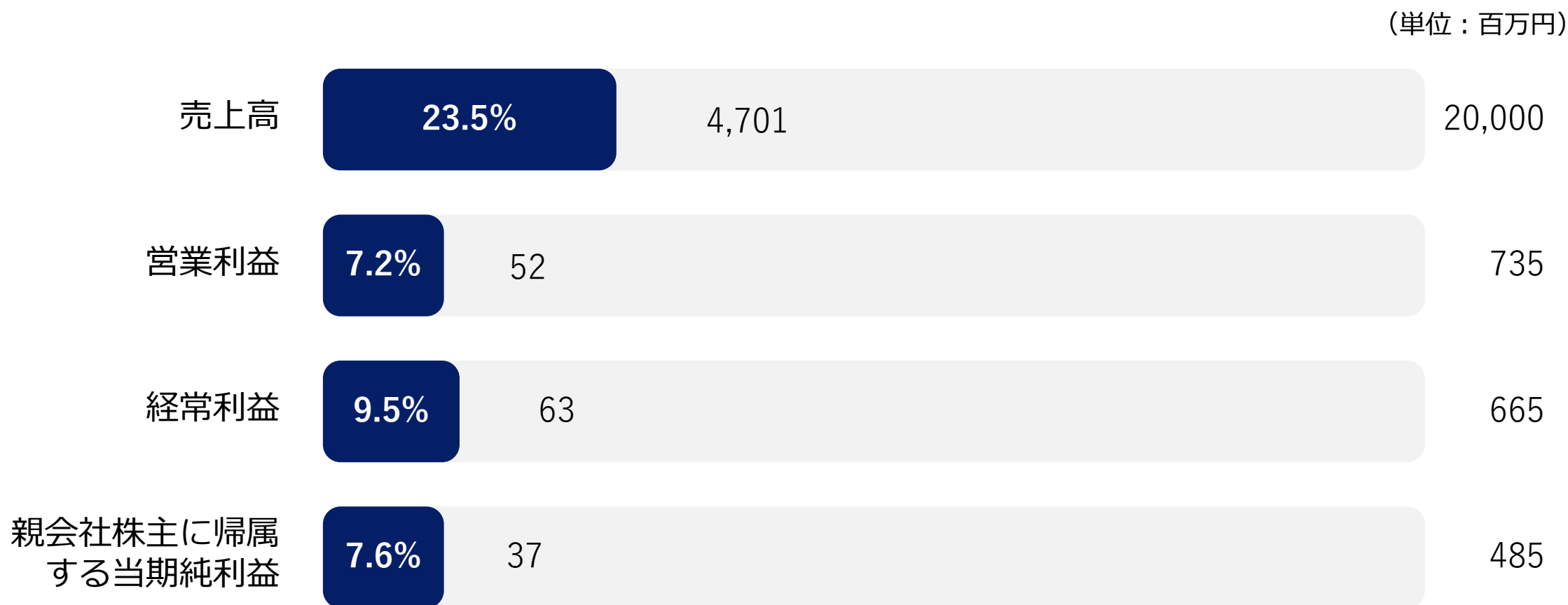
### 四半期営業利益 (単位：百万円)



### 累計営業利益 (単位：百万円)



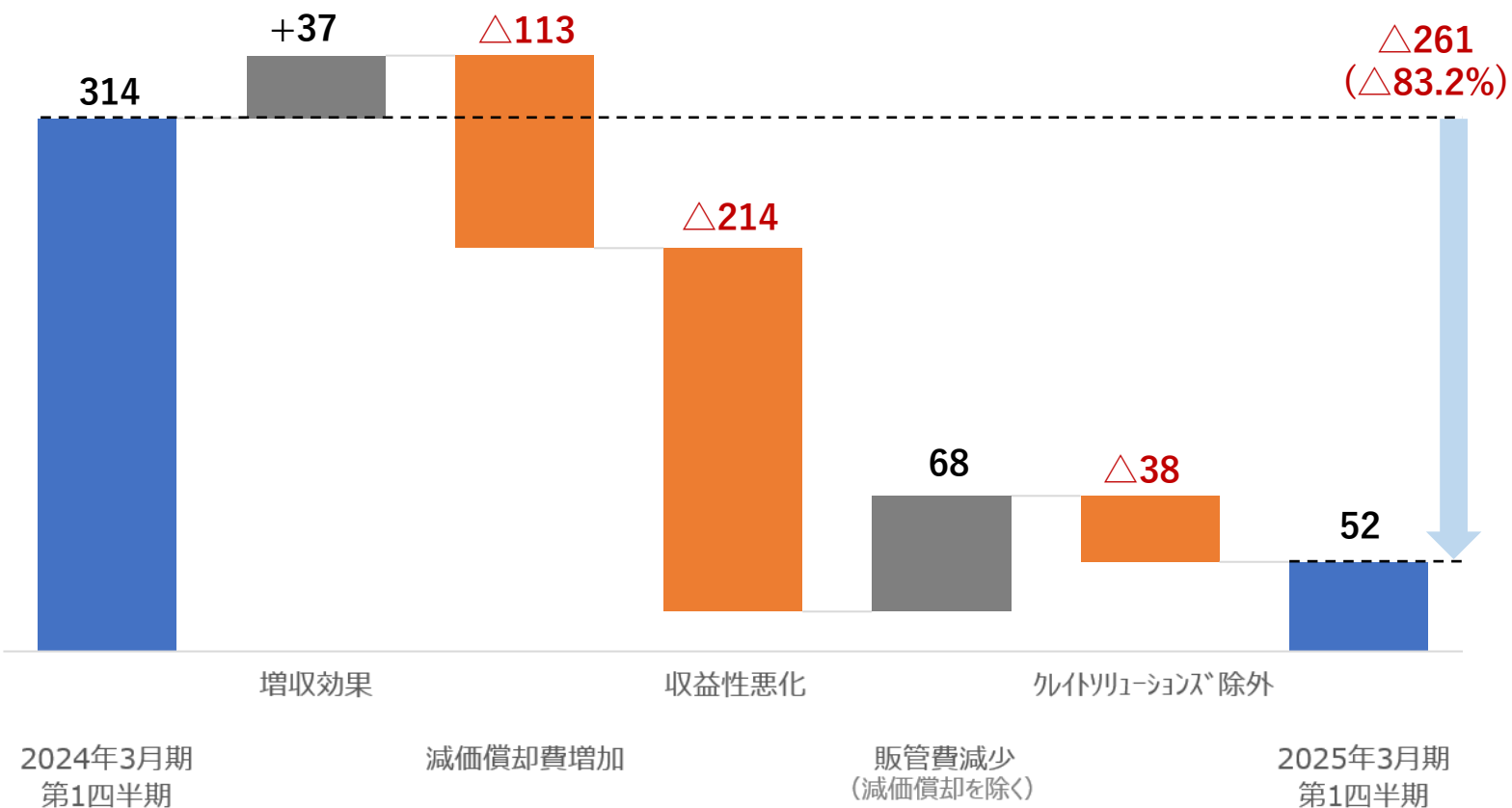
通期の連結業績予想に対して売上高は順調に推移。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は年度後半にかけて進捗が進む計画。



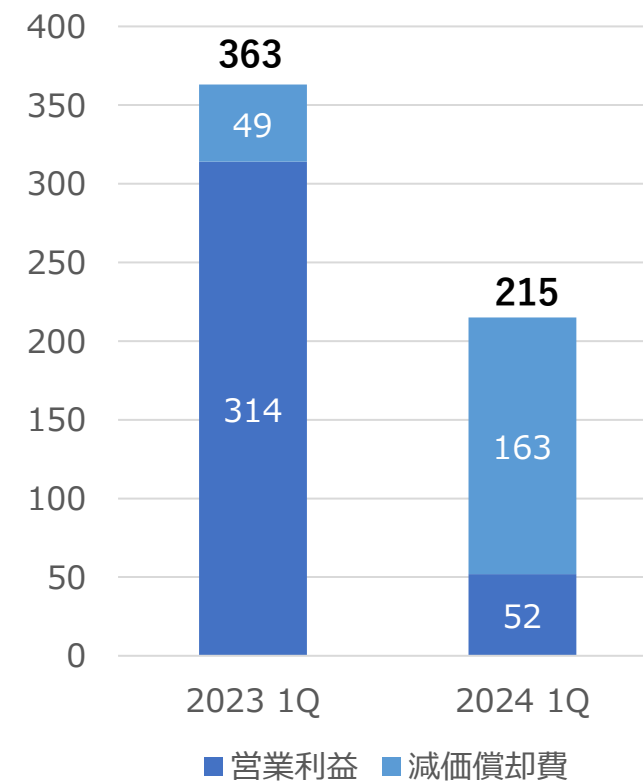
前期に実施した設備投資による減価償却費の増加や、ROM書込み数量の減少による収益性の低下等により減益。

(単位：百万円)

### 連結営業利益の増減分析



### 連結営業利益 + 減価償却費



自己資本比率は「中期経営計画2027」で定めた30%以上を維持。  
 (2024/3末：34.1%、2024/6末：33.2%)

(単位：百万円)

		2024年3月末	2024年6月末	増減額	
資産の部	流動資産	11,700	11,997	297	
	現金及び預金	2,485	2,857	372	
	電子記録債権及び売掛金	3,848	3,539	△308	電子記録債権及び売掛金 プリンストン ▲455百万円
	商品及び製品	3,326	3,371	45	
	固定資産	5,121	4,950	△171	
	有形固定資産	3,280	3,125	△155	有形固定資産 <新社屋および書込み設備の減価償却費> ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ ▲138百万円
	投資その他の資産	1,642	1,631	△10	
	資産合計	16,822	16,947	125	
負債の部	流動負債	9,005	8,998	△6	
	電子記録債務及び買掛金	1,079	1,145	65	
	短期借入金	5,120	5,820	700	短期借入金 ミナトホールディングス +700百万円
	固定負債	2,067	2,323	255	長期借入金 <ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ 本社建替関連> ミナトホールディングス +400百万円
	長期借入金	1,902	2,158	255	
	負債合計	11,072	11,322	249	
純資産の部	株主資本合計	5,621	5,482	△139	株主資本 親会社株主に帰属する四半期純利益 +37百万円 株主配当 ▲104百万円 自己株取得 ▲72百万円
	自己株式	△252	△324	△72	
	純資産合計	5,749	5,625	△123	
負債・純資産合計		16,822	16,947	125	

# 3. セグメント別 第1四半期業績

国内：7社

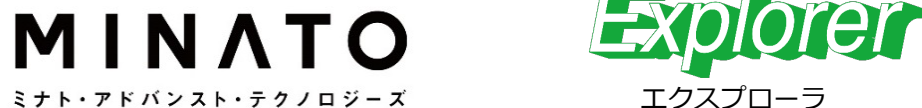
海外：2社

デジタルデバイス



港御（香港）  
有限公司

デジタルエンジニアリング



港御（上海）  
信息技术有限公司

ICTプロダクツ



その他



持分法適用会社：1社



DediProg Japan  
株式会社

デジタルエンジニアリング、ICTプロダクツ、その他の各セグメントが減収減益となるも、**デジタルデバイスが大幅増収増益で全体を牽引。**

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期 実績			2025年3月期 第1四半期 実績		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
デジタルデバイス	2,102	224	10.7%	2,502	361	14.4%
デジタルエンジニアリング	804	337	41.9%	639	-83	-13.1%
ICTプロダクツ	1,706	1	0.1%	1,560	-10	-0.7%
その他	442	37	8.5%	91	-6	-7.6%

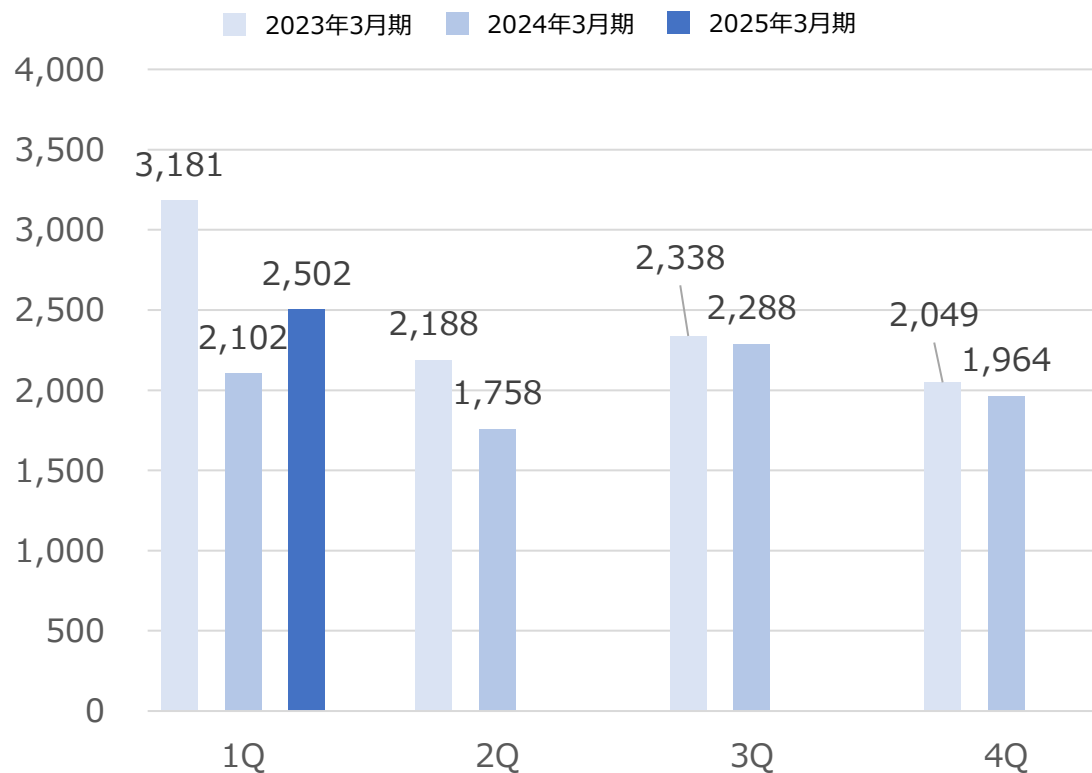
(※セグメント間の内部売上高または振替高を加えたセグメント売上高を表示しています)

関連グループ会社：  SanMax Technologies

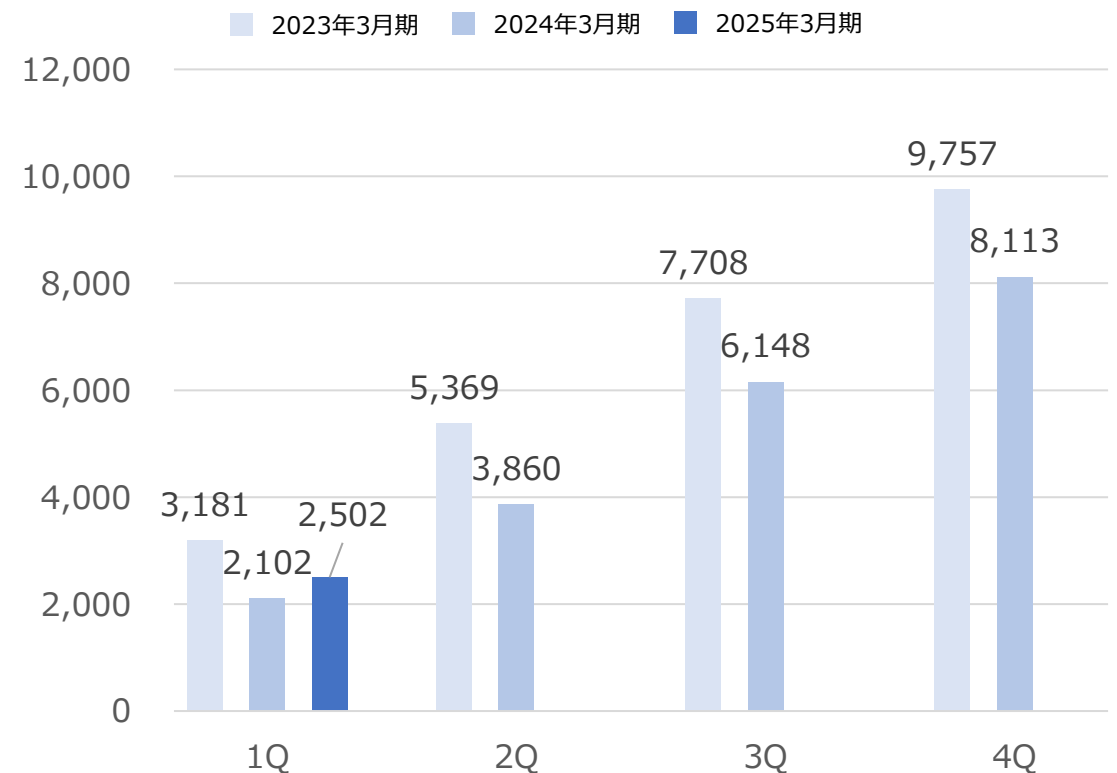
港御（香港）  
有限公司

メモリー価格の上昇や新規案件の獲得等により売上高は前年同期を上回って着地。

四半期売上高 (単位：百万円)



累計売上高 (単位：百万円)

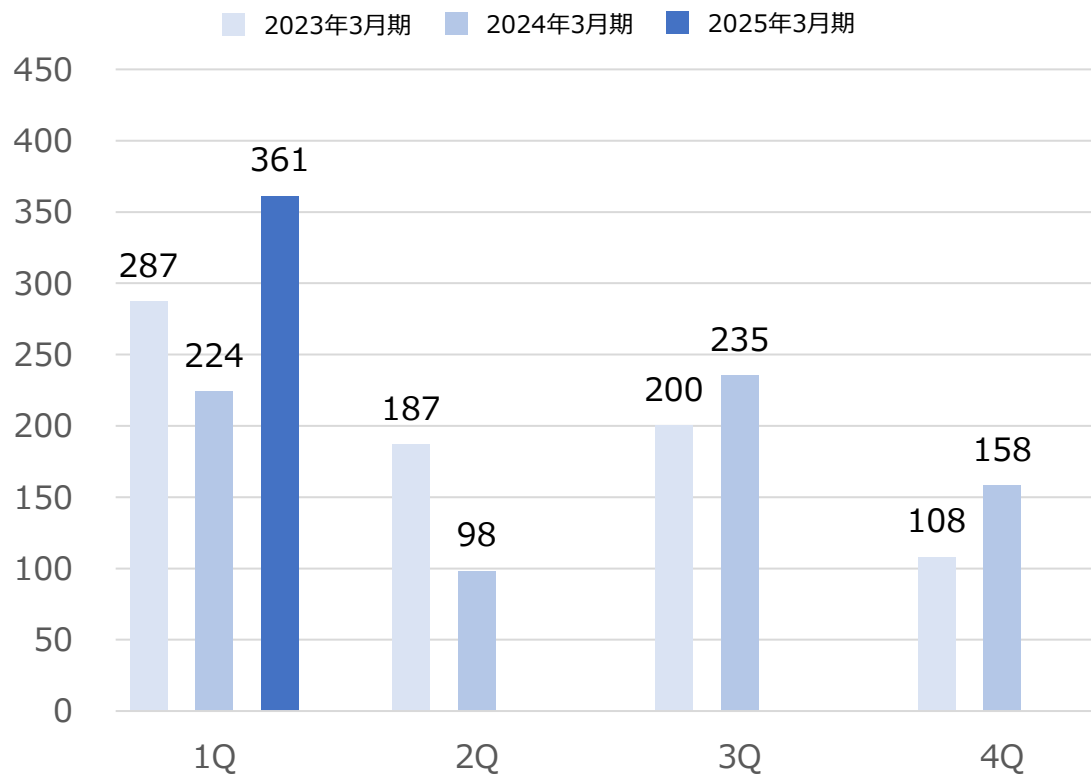




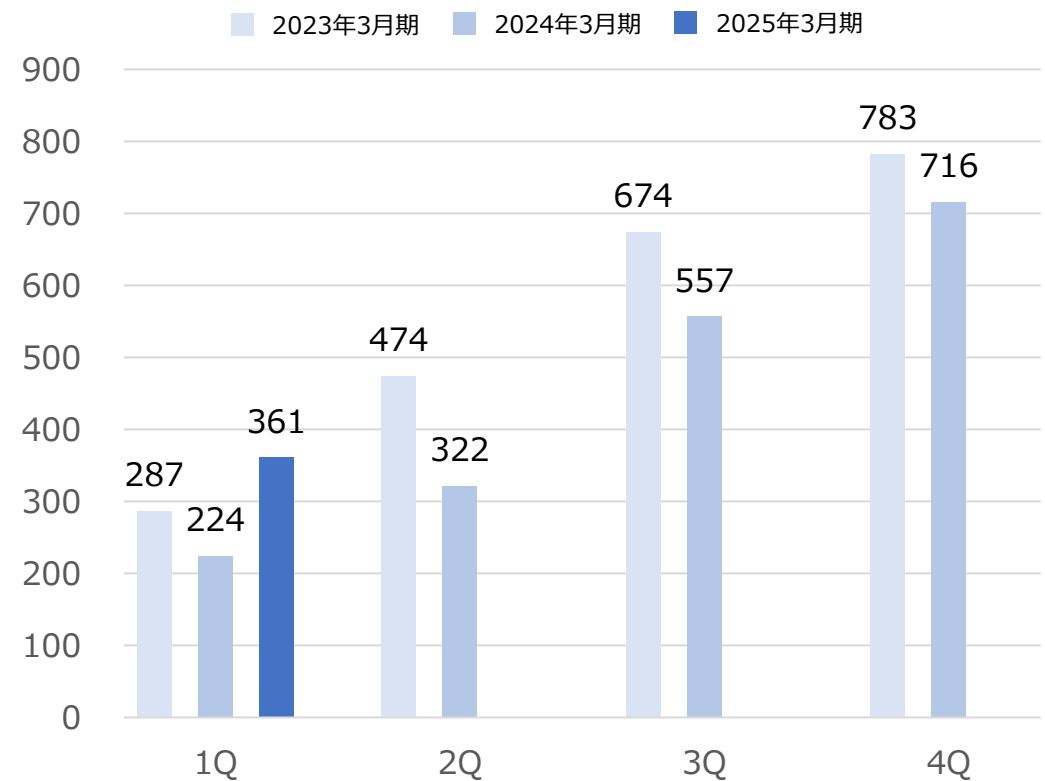
関連グループ会社： 港御（香港）  
有限公司

利益率の高い自社ブランドのメモリーモジュール製品の販売が利益確保に寄与したことから  
前期比増益。

四半期営業利益 (単位：百万円)



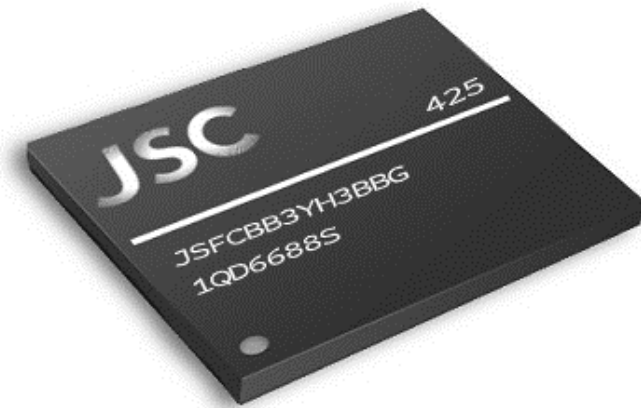
累計営業利益 (単位：百万円)



## トピックス

## サンマックス・テクノロジーズが韓国**チェジュ・セミコンダクター社**と**正規代理店契約**を締結し、半導体メモリを中心とした製品の取り扱いを開始

生成AIやロボット技術などに用いられる先端半導体に注目が集まる一方で、多くの電化製品や産業機器に使用される、従来型のレガシー半導体は深刻な供給不足が続いている。韓国証券市場に上場している**チェジュ・セミコンダクター社**はファブレスメーカーでありながら、DRAMなどの開発および設計を自社の研究開発センターで行っており、複数の製造委託工場と提携することで、安定した長期供給体制を構築していることが最大の特長。



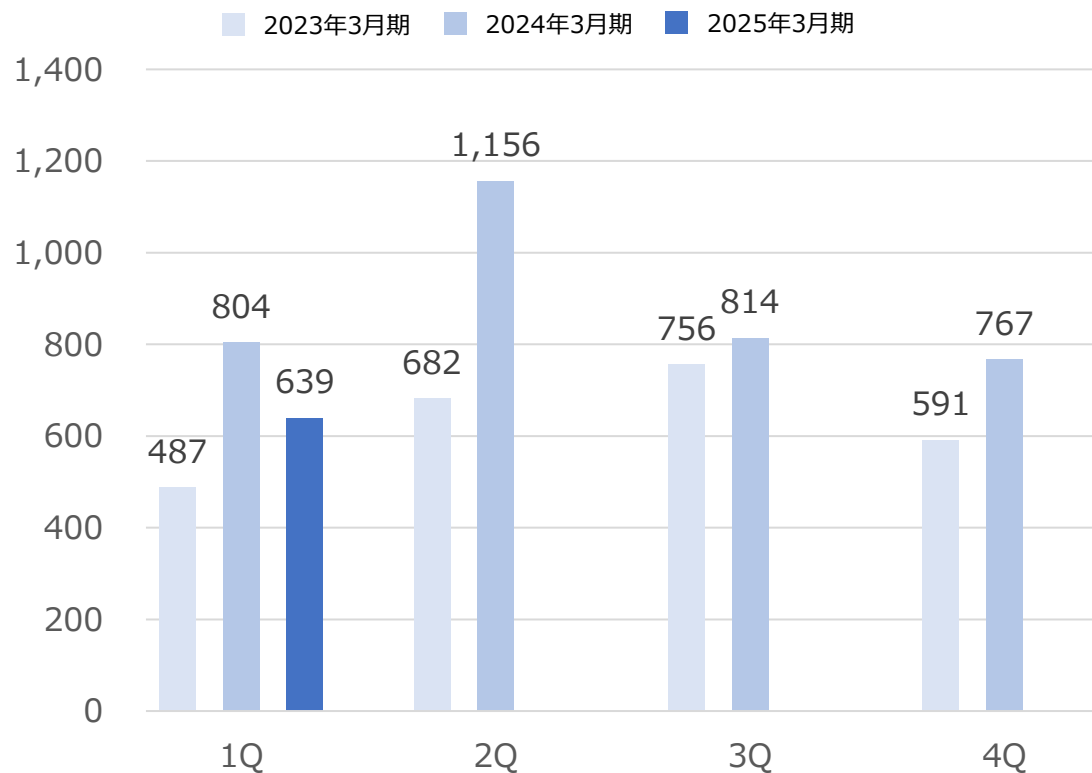
関連グループ会社： **MINATO**  
ミナト・アドバンスド・テクノロジーズ



港御（上海）  
 信息技术有限公司

大手電機メーカー向けの国内製新型オートハンドラの販売や、超薄型サイネージ「WiCanvas」の大手GMSなどへの導入が進んだものの、ROM書き込みサービス事業での書き込み数量減少により減収。

四半期売上高 (単位：百万円)



累計売上高 (単位：百万円)



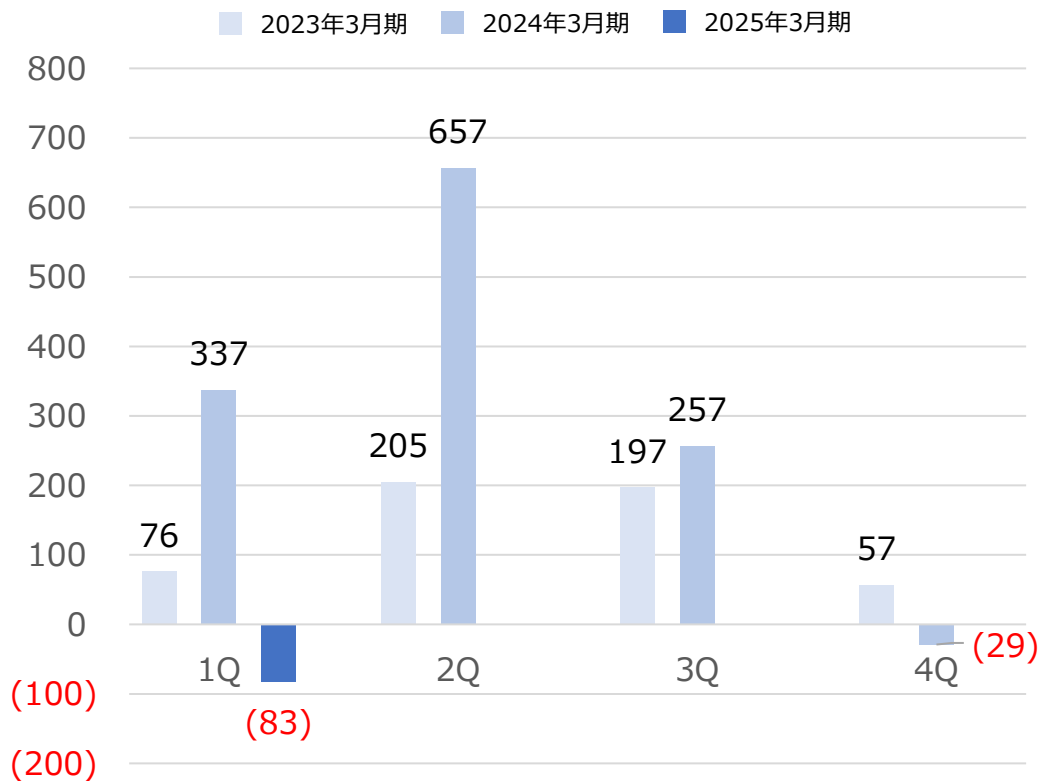
関連グループ会社： **MINATO**  
ミナト・アドバンスド・テクノロジーズ



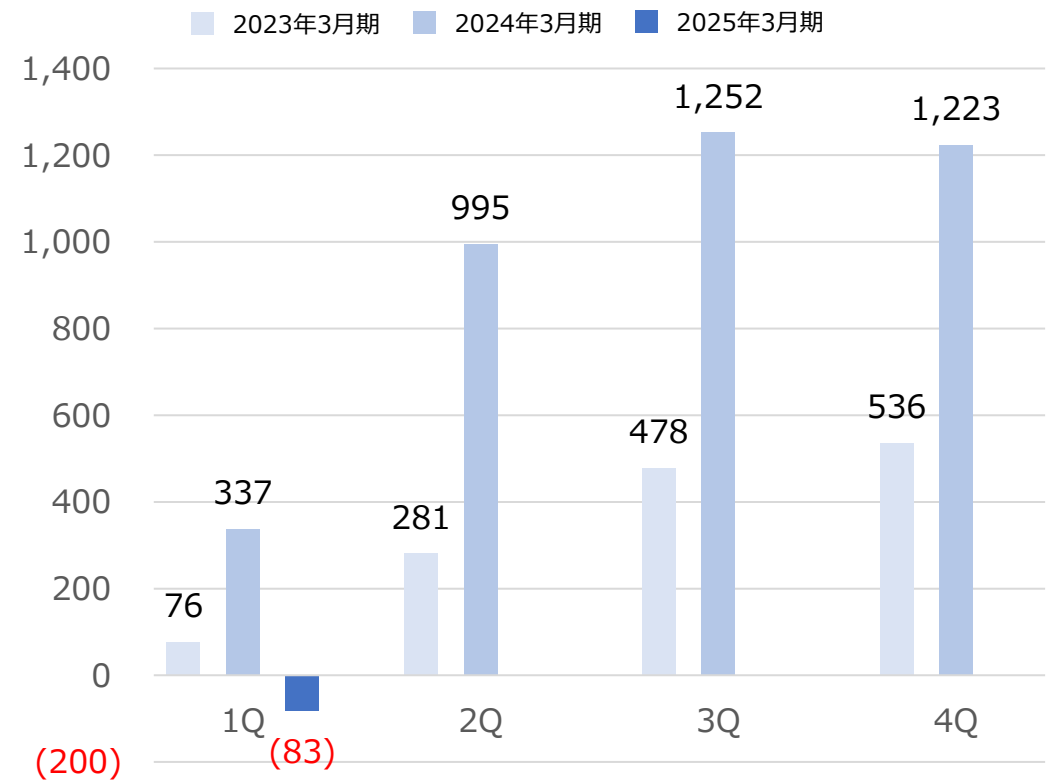
港御（上海）  
 信息技术有限公司

ROM書込みサービス事業での減価償却費の増加、および日本サムスン株式会社、株式会社トーメンデバイスと共同で実施する国内大手メーカーに向けたプロジェクトにおいて一時的なROM書込み数量の減少が大きく影響し減益。

四半期営業利益 (単位：百万円)



累計営業利益 (単位：百万円)



トピックス

## ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ新本社建設の第二期工事が進行中で**年内に竣工予定**

完成後には作業スペースが旧日本の約5倍に拡大。



工事の様子



完成予想図

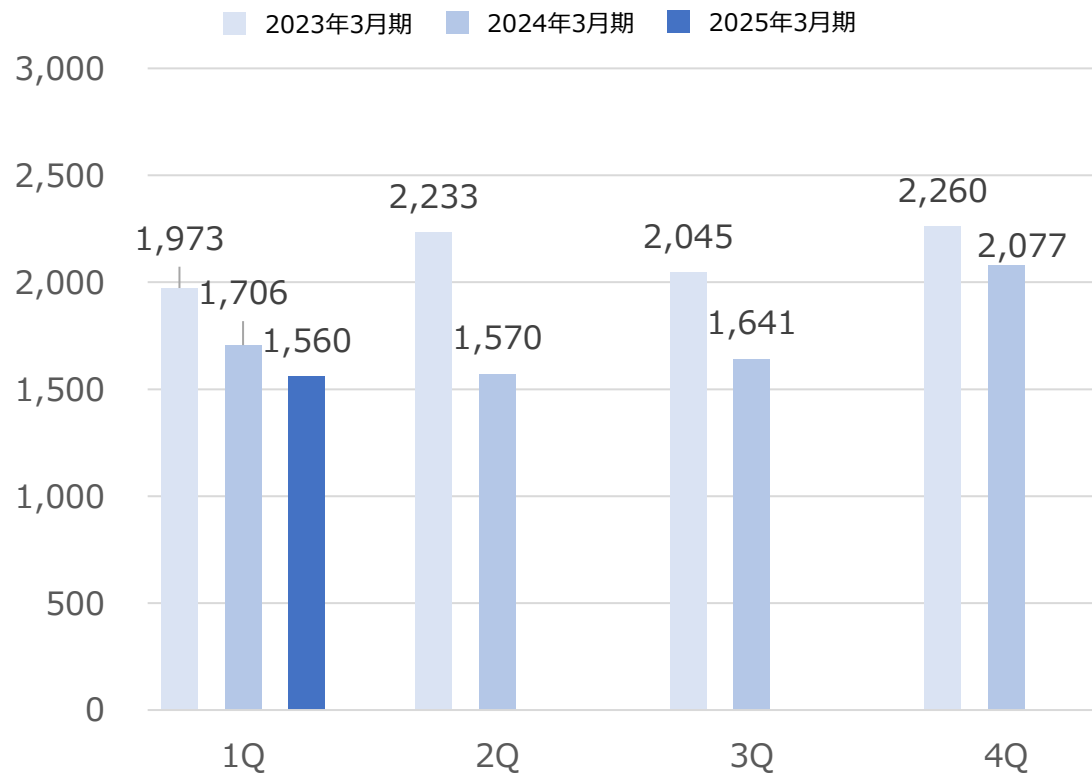
## **DediProg Japan株式会社を本年3月に設立し、資本業務提携先の台湾 DediProg Technology社と合併会社化**

DediProg Japanの人員増強を進め、DediProg Technology社製デバイスプログラマ製品の日本国内での販売活動推進を図る。

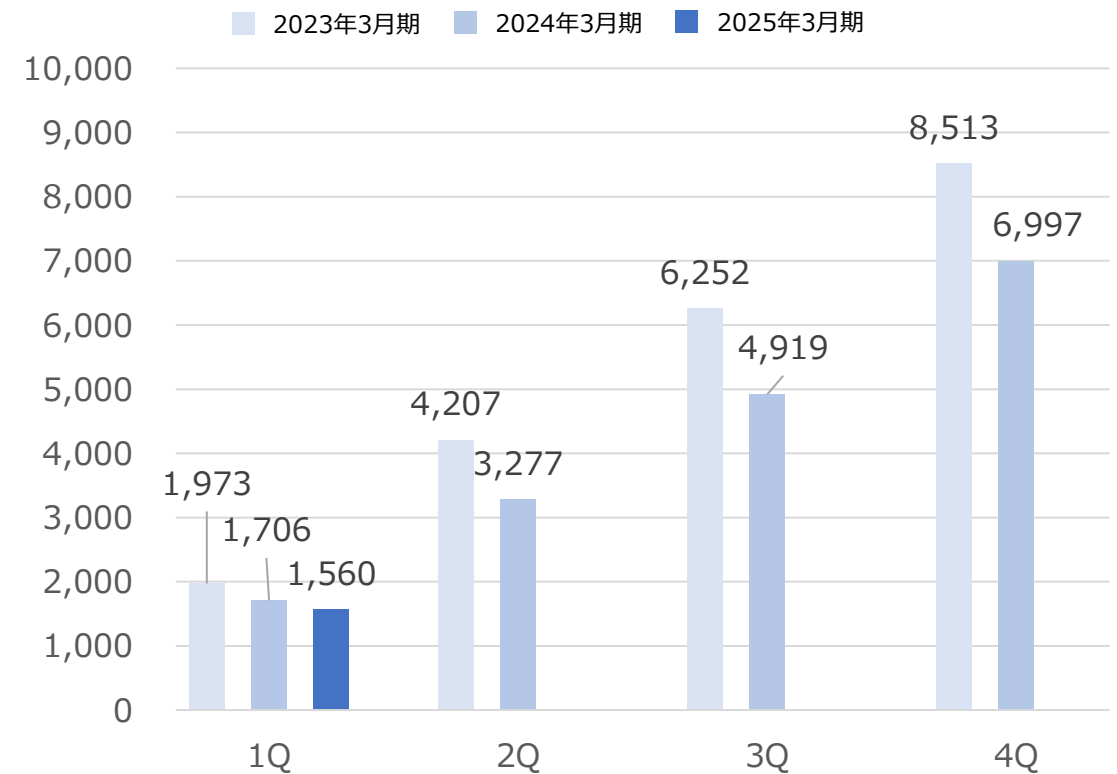
## 関連グループ会社： PRINCETON

テレワークソリューション事業において据置型会議システム全体の需要が軟調に推移したことや、長引く物価高を受けた生活防衛意識の高まりなどからデジタル関連機器事業の需要も低調に推移。

四半期売上高 (単位：百万円)



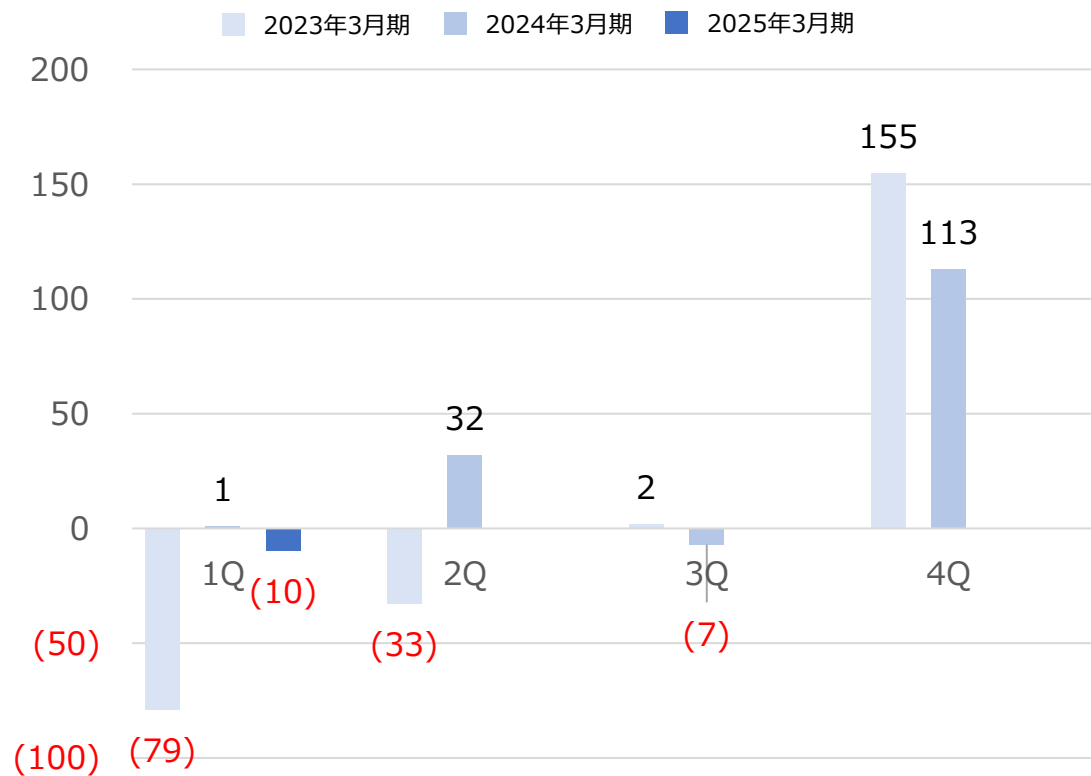
累計売上高 (単位：百万円)



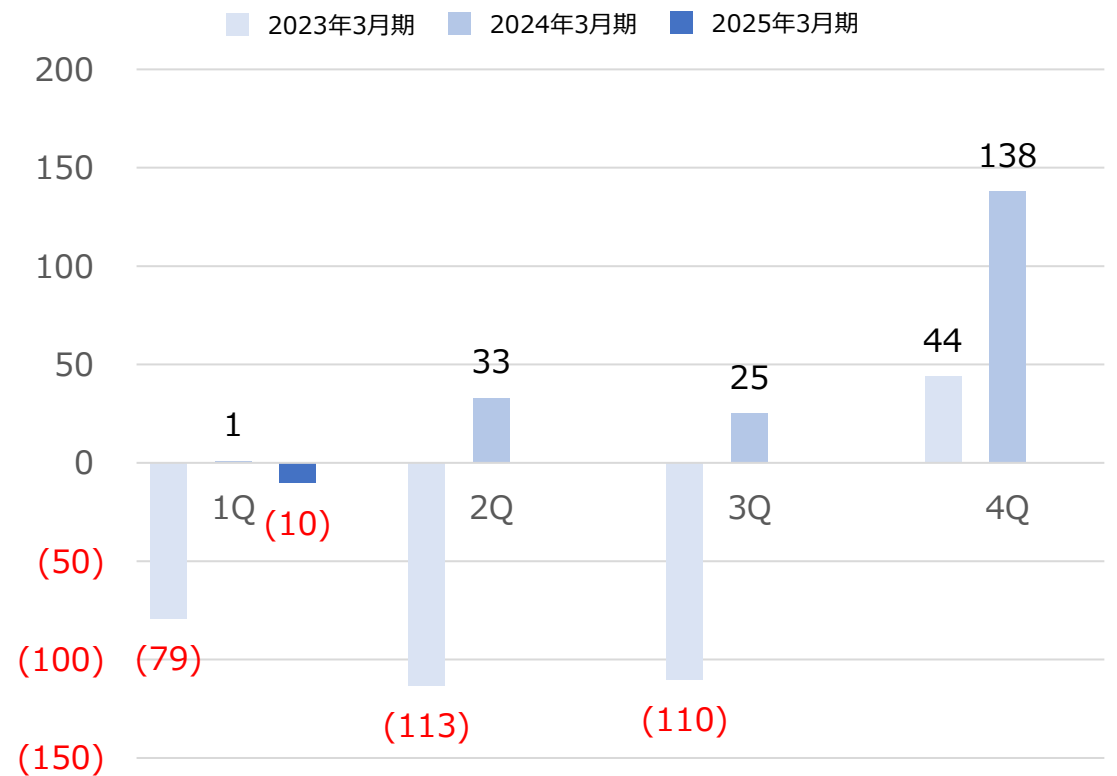
関連グループ会社： PRINCETON

前期後半に取り扱いを開始したデジタル会議システムの立ち上がりが遅れたこと等により、販売実績が前期を下回る。

四半期営業利益 (単位：百万円)



累計営業利益 (単位：百万円)



## トピックス

## プリンストンが昨年より取り扱うグローバルブランド Yealink (ヤーリンク) 社と日本国内のディストリビュータ契約を締結

「Yealink」はMicrosoft TeamsやZoomに対応したビデオ会議端末、およびUSBカメラやマイクスピーカーフォンなどの周辺機器を幅広く提供するグローバルなコミュニケーションデバイスメーカー。豊富なラインナップであらゆるサイズやレイアウトの部屋に対応できる柔軟性が特長で、プリンストンが取り扱うビデオ会議端末の拡充とさらなる販路の拡大を推進。





関連グループ会社：

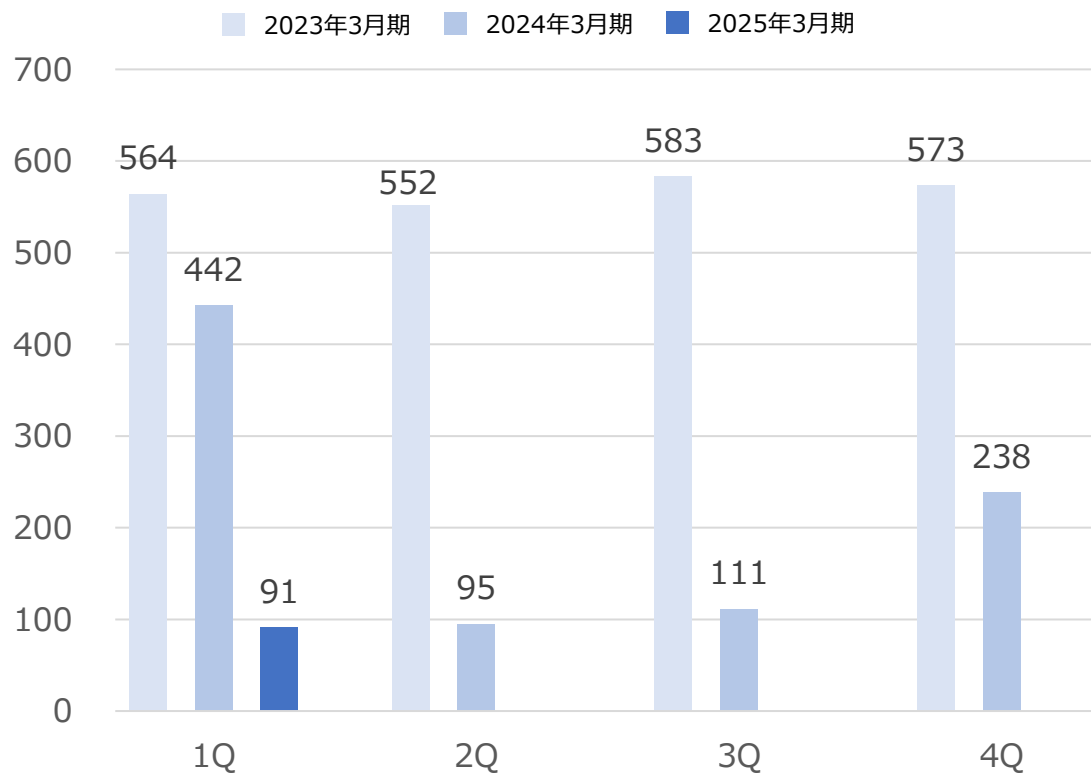


Rivers inc.

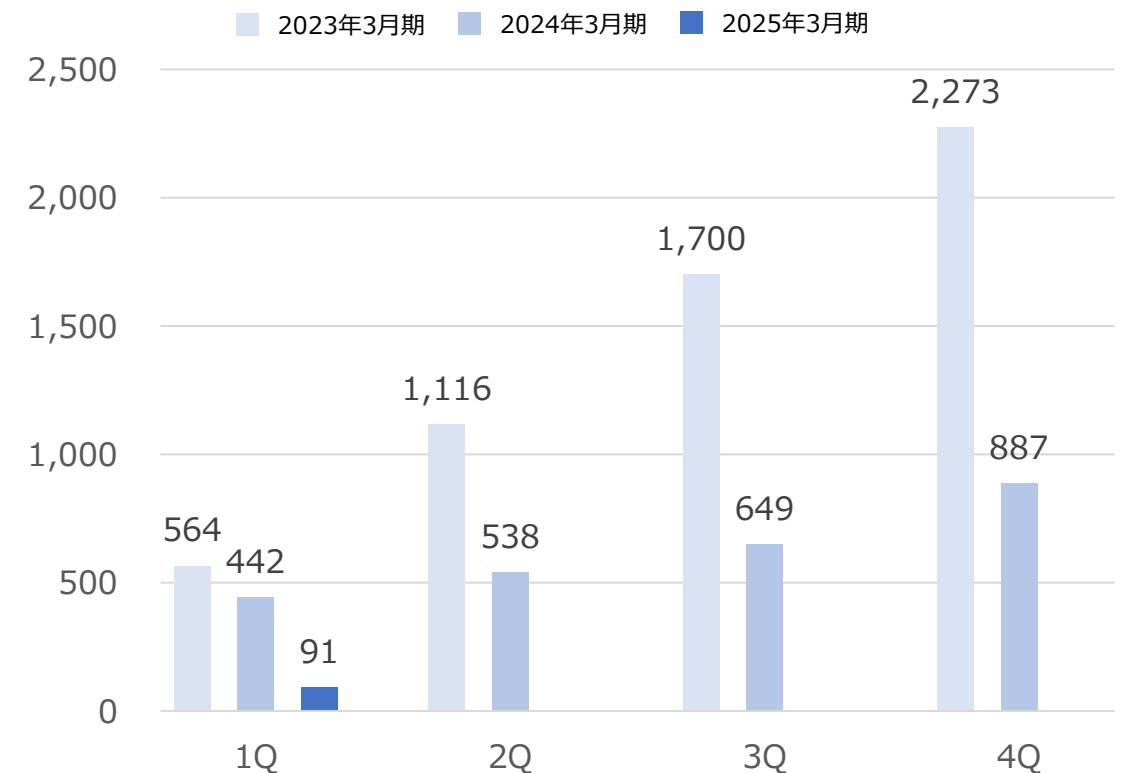


2023年6月に全株式を譲渡した株式会社クレイトソリューションズを連結範囲から除外したことが大きく影響し、前期比減収。

四半期売上高 (単位：百万円)



累計売上高 (単位：百万円)



関連グループ会社：

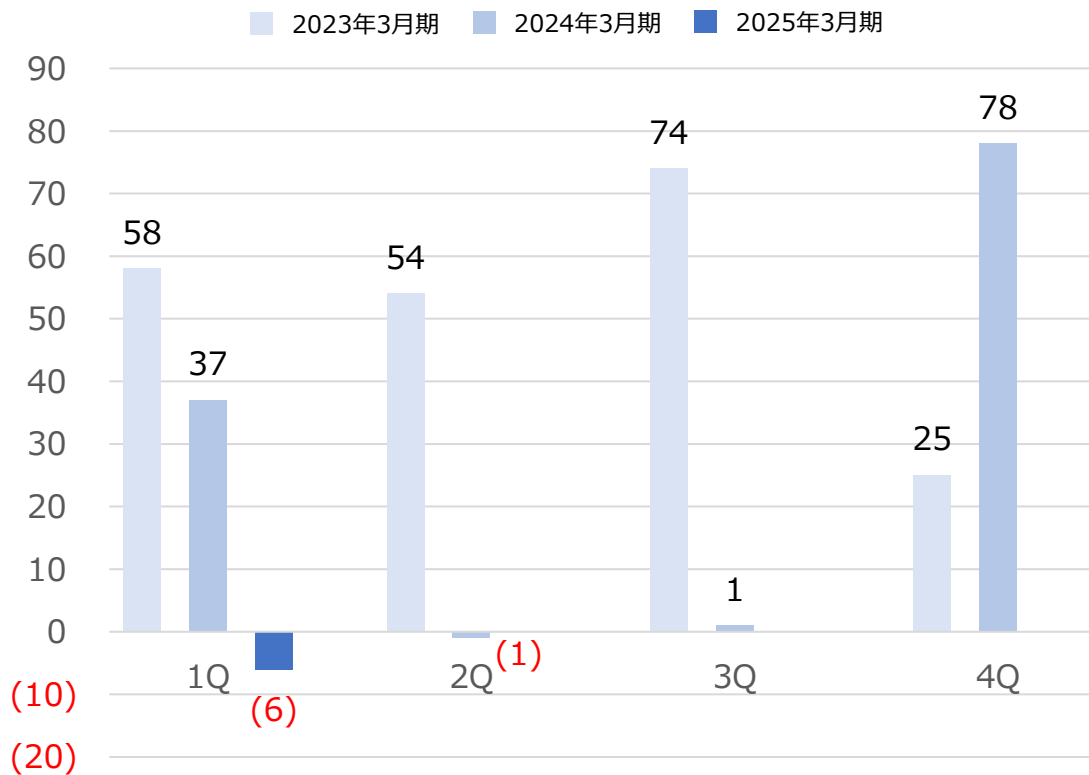


Rivers inc.

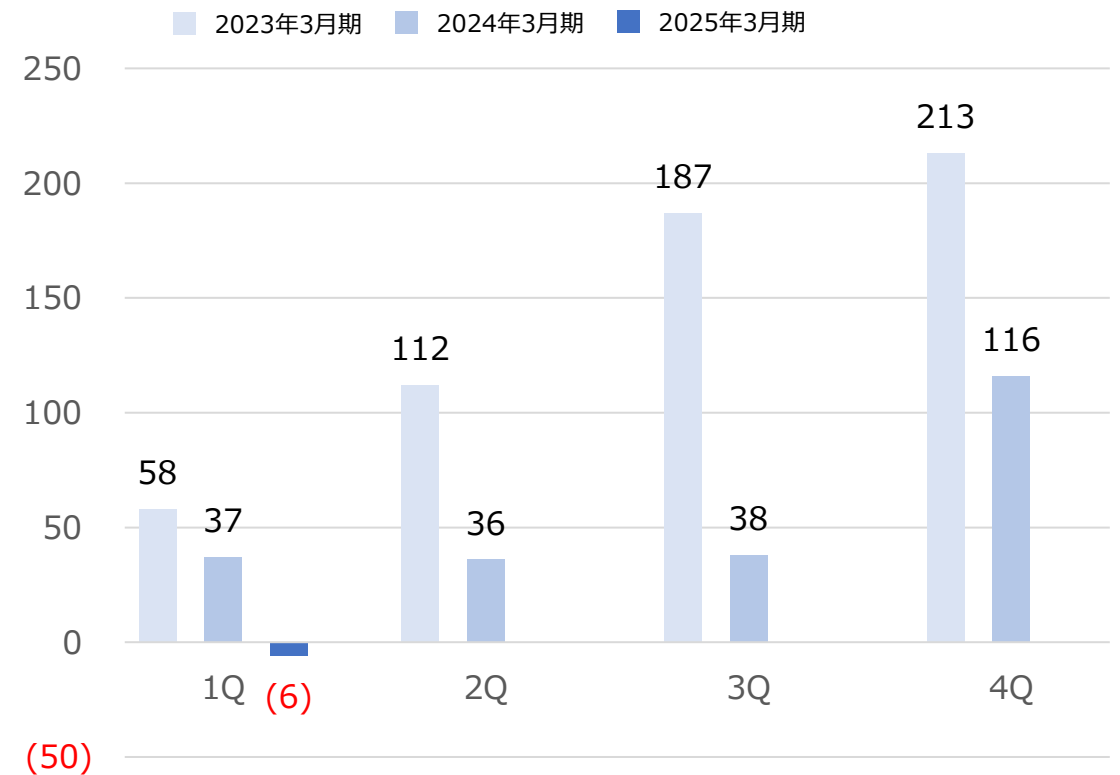


各事業において新たな案件獲得が進んだものの、第1四半期においては費用が先行したこと、株式会社クレイトソリューションズの連結範囲からの除外により、前期比減益。

四半期営業利益 (単位：百万円)



累計営業利益 (単位：百万円)



# 4. ミナトグループの成長戦略

ミナトホールディングスグループは

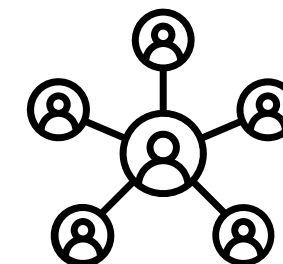
# デジタルコンソーシアム構想 (DC構想)

の実現を目指します

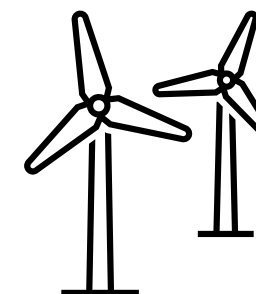
デジタルの分野に特化した技術力を持つ  
企業との提携、M&Aを実施

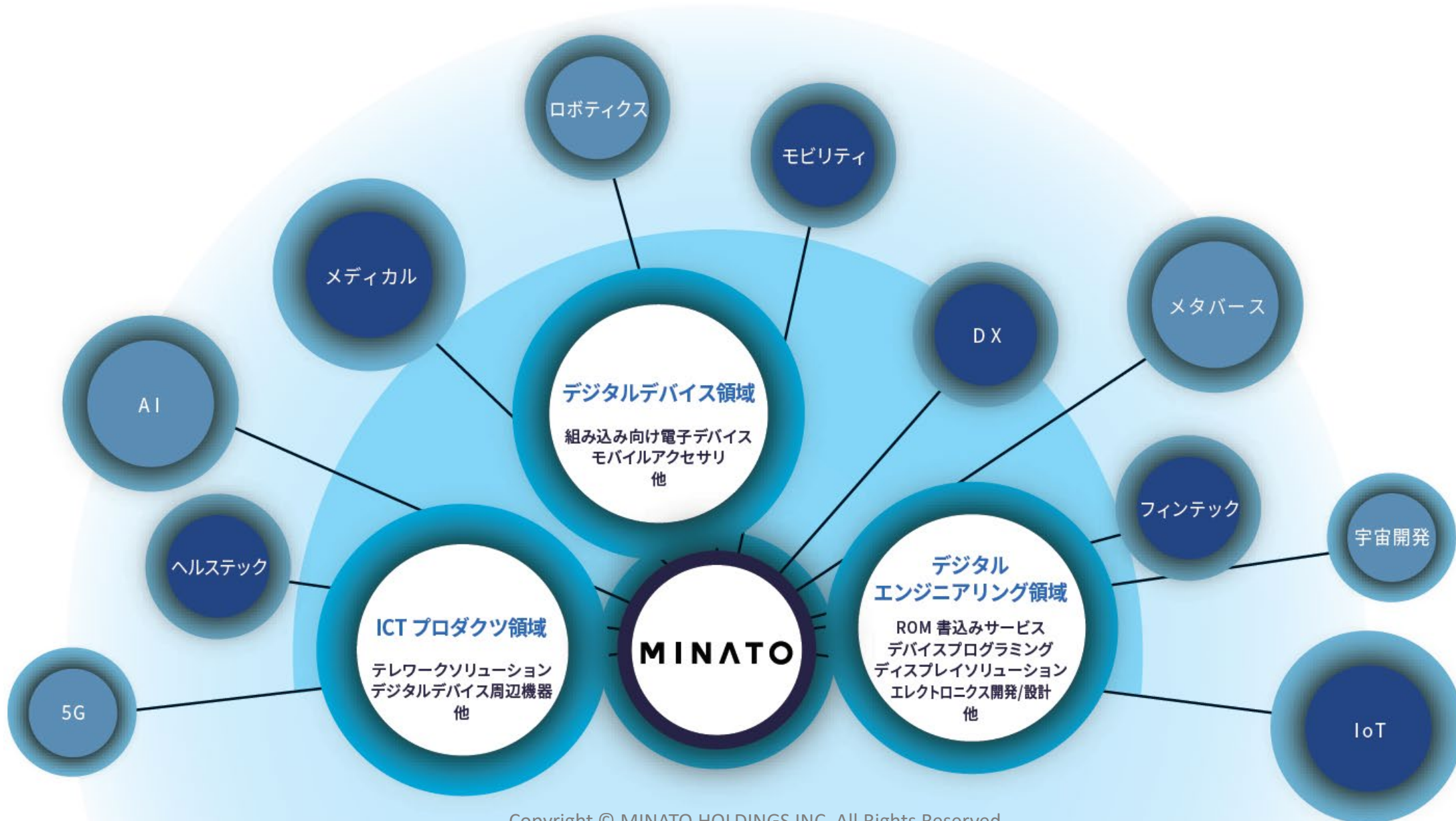


コンソーシアムの強化によるシナジー創出、  
新しい製品やサービスの開発にも挑戦

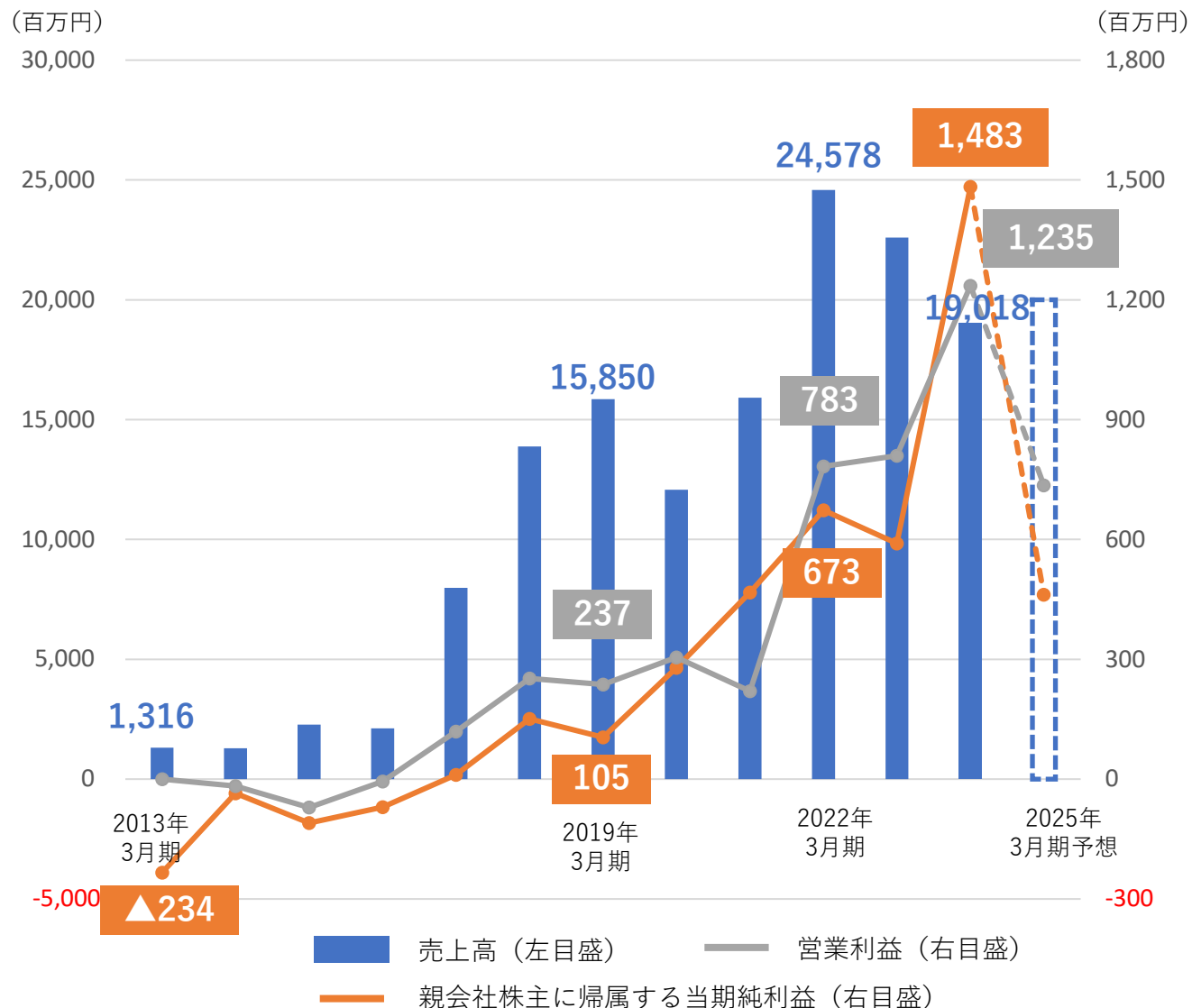


新しい市場を開拓することで人や社会に  
貢献し、持続可能な未来を創造





# これまでのDC構想実現に向けた取り組み



2014年 4月	イーアイティーを子会社化
2016年 4月	サンマックス・テクノロジーズを子会社化
2016年 12月	ミナト・フィナンシャル・パートナーズを設立
2017年 3月	日本ジョイントソリューションズを子会社化
2018年 10月	当社を持株会社体制に移行 ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ営業開始
2020年 4月	ジー・ワーカーを孫会社化
2020年 8月	プリンストンを子会社化
2021年 2月	アイティ・クラフトを子会社化
2021年 4月	パイオニア・ソフトを子会社化
2021年 12月	エクスペローラを子会社化
2022年 7月	パイオニア・ソフトとイーアイティーが合併し、 クレイトソリューションズ営業開始
2023年 1月	日本ジョイントソリューションズとアイティ・クラフトが合併
2023年 4月	サンマックス・テクノロジーズとジー・ワーカーが合併
2023年 4月	リバースを孫会社化
2023年 6月	クレイトソリューションズの株式を譲渡
2024年 3月	DediProg Japanを設立し合併会社化



[https://www.minato.co.jp/document\\_files/ir/medium-term\\_business\\_plan/202301/MidTermStrategy2027%E2%80%97final.pdf](https://www.minato.co.jp/document_files/ir/medium-term_business_plan/202301/MidTermStrategy2027%E2%80%97final.pdf)



3つの重点テーマに基づき、デジタルコンソーシアム構想の実現を目指す

① **既存事業領域の更なる拡大**

デジタル技術の進化を取り入れたさらなる事業拡大

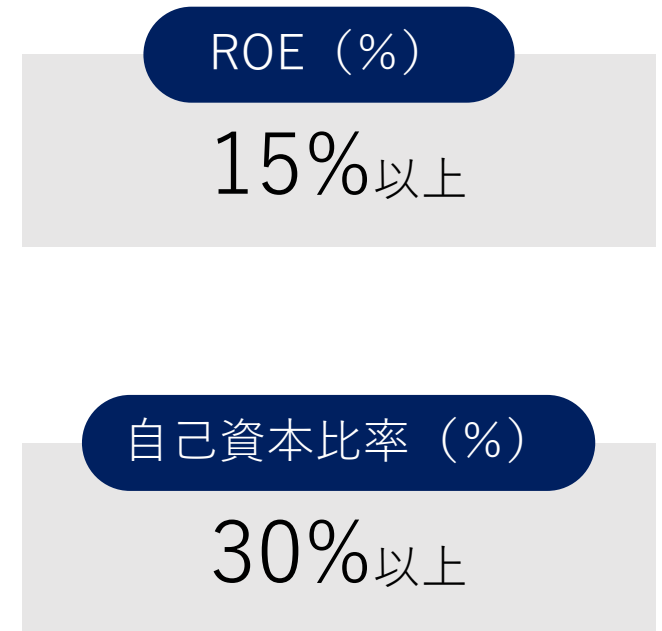
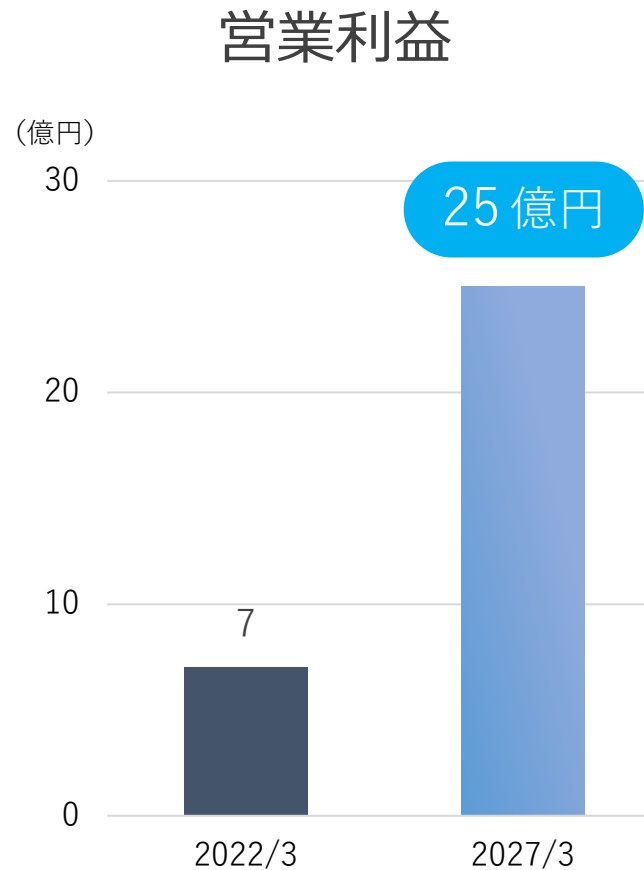
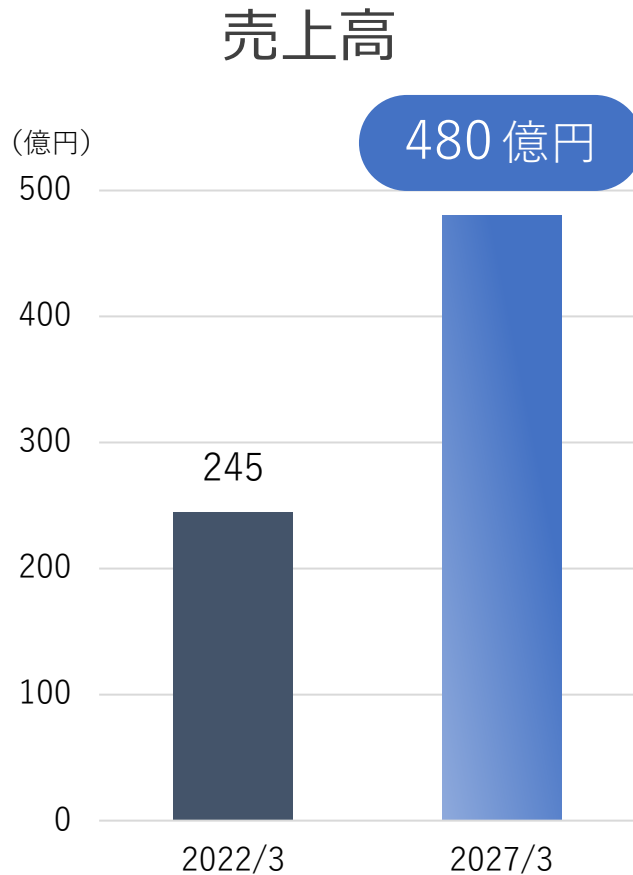
② **新規事業領域への投資（M&A/ベンチャー投資）**

強みの投資力を生かした新事業によるさらなる成長力の獲得

③ **グローバル展開**

海外拠点新設によるアジア市場へのビジネス拡大と、米国企業の新技術やビジネスモデルの取り組み

2023年6月1日付でシステム開発事業を担うグループ会社の株式を譲渡したが、連結売上高と営業利益の目標数値は維持。



## DC構想実現による未来の社会の創造のための重要課題（マテリアリティ）を特定して取り組みを推進

### ▶ QOL向上の実現

高品質デジタル商品やデジタル技術を多くの方に届けることで、人々のQOLを向上



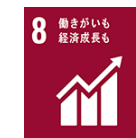
### ▶ 地球環境の保全

環境に配慮したオペレーションを実施するとともに、環境負荷を低減するための技術、サービスを提供



### ▶ 人材ダイバーシティを重視した働きやすい環境

多様な人材が活躍でき、一人ひとりが健康に働き続けられる職場



### ▶ 持続的な成長を可能にする経営基盤

持続的な成長を実現し、環境の変化に対応するための経営基盤、コーポレート・ガバナンス体制の強化



# 5. Appendix 会社概要とグループ会社の事業内容

名 称	ミナトホールディングス株式会社 (MINATO HOLDINGS INC.)
所 在 地	東京都港区新橋 4 丁目21番 3 号 新橋東急ビル
代 表 者	代表取締役会長 兼 グループCEO 若山 健彦 代表取締役社長 兼 COO 相澤 均
資 本 金	1,077百万円 (2024年 3 月31日現在)
設 立 日	1956年12月17日
事 業 内 容	グループ会社の経営管理
グループ会社	9社 (国内7社、海外 2 社)、持分法適用会社1社
役 職 員 数	370名 (グループ全体)



## 経営理念

常に新しい技術に挑戦し、  
社会に価値ある製品やサービスを提供することで、  
お客様、株主、従業員の満足度を高める企業になる。

## ビジョン

デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

Creating the Future by Digital Consortium

デジタルコンソーシアム構想とは

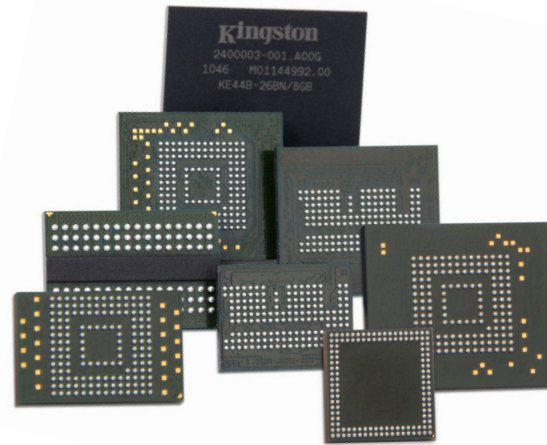
1. デジタルの分野に特化した技術力を持つ企業との提携、M&Aを実施
2. コンソーシアムの強化によるシナジー創出、新しい製品やサービスの開発にも挑戦
3. 新しい市場を開拓することで人や社会に貢献し、持続可能な未来を創造



- サンマックス製メモリーモジュールおよび各種メモリー製品は、PC、サーバー、POSレジ、MFP(多機能デジタル複合機)、ATMなど多岐にわたる用途で使用されています。
- 供給安定性と全数検査による品質コントロールに強みを持ち、大手電機メーカーや半導体デバイス商社などのお客様の品質基準と幅広いニーズに対応しています。



DIMM  
(Dual Inline Memory Module)



e•MMC™ / eMCP  
(Kingston製品)



Flash Media



- AI 画像処理や産業用オートメーションにも採用されているエフィニックス社の FPGA、小売業店舗や交通系施設などで広く利用されているIDTECH社の非接触決済端末製品なども取り扱っています。
- モバイルアクセサリブランド「Tuna」 (トウナ) を展開しています。



FPGA  
(書換えができる集積回路)



非接触決済端末



モバイルバッテリー



充電ケーブル

# MINATO

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

- 記憶装置にデータを書き込むデバイスプログラマや、自動プログラミングシステムの開発に加え、プログラムの書込みサービス（ROM書込みサービス）を展開しています。
- 本社建て替え第一期工事が2024年2月1日に完了。追加設備投資により、ROM書込みサービスの書込み能力を従来の約3.6倍に増強しました。



デバイスプログラマ



自動プログラミングシステム  
(オートハンドラ)



ROM書込みサービス



新本社



# MINATO

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

- 自動販売機やATM、屋外サイネージなどで使用され35年以上の実績を誇るタッチパネルから最先端の超薄型デジタルサイネージまで、幅広く取り扱っています。
- コンテンツ制作を含めた総合的なソリューションの提案が強みです。



タッチパネル



デジタルサイネージ  
(WiCanvas)

## PRINCETON

- 液晶モニター、メモリ、eスポーツ関連製品、PCやスマホなどのデジタルデバイス周辺機器を販売し、自社ECサイト「プリンストンダイレクト」を運営しています。
- ビデオ・音声会議システムおよび関連機器のブランドを網羅し、オーダーメイドのように組み合わせる最適なソリューションを提案します。



PC / スマホ /  
タブレット周辺機器



ゲーミング関連製品  
(ULTRA PLUS / HyperX)



ビデオ・音声会議システム周辺機器  
(Poly / Cisco / Yealink)



Rivers inc.

Japan Joint Solutions

- ユーザーの要望に沿ったシステム開発、サイト設計・デザイン、コンテンツ戦略の提案・伴走支援などのサービスをワンストップで提供します。
- Webサイト制作・Webプロモーション、グラフィックデザイン・動画制作などを行う株式会社リバーズを子会社化しています。



Web制作



グラフィックデザイン



タッチパネルコンテンツ



動画制作



業務システム



Webアプリ



イベント企画・制作



コンテンツマーケティング

## Explorer

- ソフトウェアおよびハードウェアの仕様検討、設計等から筐体を含めた量産製造まで一貫した開発サービスを提供します。
- 産業機器／医療機器／通信機器／宇宙・防衛など、幅広い分野でODM／EMSサービスを提供しています。コーデック製品やSDI検査製品のほか、半導体製品（開発キット）なども販売しています。



SRTプロトコル搭載  
H.265/HEVC 4K/2Kコーデックシステム



4K/8K HDR対応小型信号発生器



- 経営陣が持つ国内外の投資ネットワークを活用して、有望な技術を持つデジタル関連事業を手掛ける企業、成長が見込まれるベンチャー企業などに投資します。
- 太陽光発電所プロジェクトへの投資、不動産投資、デジタルを活用したホテル型宿泊施設への投資など、グループの知見・ネットワークを活かした様々な資産への投資を行います。



高崎倉賀野発電所  
(最大発電出力407kW)



ホテル型施設への投資

## 免責事項

- 本資料は、ミナトホールディングス株式会社並びにその子会社及び関連会社（以下合わせて「当社」又は「当社グループ」）に関する情報を提供するものであり、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。
- 過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社の将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、またその推定を示すものでもありません。
- 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

# デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

## ミナトホールディングス株式会社

東証スタンダード市場：6862

<https://www.minato.co.jp/>

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申込みは、  
コーポレート・コミュニケーショングループまで  
お願いいたします。

TEL:03-5733-1710

MAIL:mnt\_ir@minato.co.jp